

令和3年度 第5回及び第6回 横浜市民間資金等活用事業審査委員会 議事録	
日 時	令和4年1月7日（金）13時00分～16時45分
開 催 場 所	横浜市研修センター 602・603号室
出 席 者	委員：齊藤真哉委員長、原悦子委員、山口直也委員、秋葉正一委員、勝地弘委員 事業局：道路局建設課 故島担当課長、森担当係長 ほか 事務局：政策局共創推進室 吉原担当課長、石原担当係長 ほか
欠 席 者	なし
開 催 形 態	非公開
次 第	<p>【令和3年度 第5回 横浜市民間資金等活用事業審査委員会】</p> <p>環状3号線（杉田港南台地区）電線共同溝PFI事業について</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 これまでの経過について（報告）</li> <li>2 提案者プレゼンテーション及び提案ヒアリングの進め方について（説明）</li> <li>3 提案者プレゼンテーション及び提案ヒアリング</li> </ol> <p>【令和3年度 第6回 横浜市民間資金等活用事業審査委員会】</p> <p>環状3号線（杉田港南台地区）電線共同溝PFI事業について</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 提案審査に関する審議の進め方について（審議）</li> <li>2 提案審査の実施（審議）</li> <li>3 総合評価点の算出及び最優秀提案者の選定について（審議）</li> </ol>
議 事 概 要 （ 要 旨 ）	<p>【令和3年度 第5回 横浜市民間資金等活用事業審査委員会】</p> <p>環状3号線（杉田港南台地区）電線共同溝PFI事業について</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 これまでの経過について（報告） 事業局から、前回審査委員会（令和3年7月5日）以後の経過について、資料1により報告があった。</li> <li>2 提案者プレゼンテーション及び提案ヒアリングの進め方について（説明） 事務局から、提案者プレゼンテーション及び提案ヒアリングの進め方について、資料2により説明があった。</li> <li>3 提案者プレゼンテーション及び提案ヒアリング 提案者である赤グループ【提案者記号 赤】及び青グループ【提案者記号 青】から、それぞれの提案プレゼンテーションがあり、それに対するヒアリングを行った。</li> </ol> <p>【令和3年度 第6回 横浜市民間資金等活用事業審査委員会】</p> <p>環状3号線（杉田港南台地区）電線共同溝PFI事業について</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 提案審査に関する審議の進め方について（審議） 事務局から、提案評価に関する審議の進め方について、資料3により説明があり、各項目の評価及び評価理由については、既に合意していたとおり委員の合議により一つひとつ決定していくことを確認した。</li> </ol>

	<p>2 提案審査の実施（審議）</p> <p>赤グループ【提案者記号 赤】及び青グループ【提案者記号 青】の提案について、提案審査を行った。</p> <p>その結果、内容点は各グループそれぞれ以下のとおりとなった。</p> <p>【赤グループ】 413.75点</p> <p>【青グループ】 375.00点</p> <p>3 総合評価点の算出及び最優秀提案者の選定について（審議）</p> <p>同日別室にて行われた開札により、価格点が確定した。内容点と価格点を合せた総合評価点は、各グループそれぞれ以下のとおりとなった。</p> <p>【赤グループ】</p> <p>713.75点（内容点 413.75点 + 価格点 300.00点）</p> <p>【青グループ】</p> <p>611.91点（内容点 375.00点 + 価格点 236.91点）</p> <p>この結果、赤グループ【提案者記号 赤】を最優秀提案者として選定した。</p> <p>本事業が地方公共団体初の電線共同溝PFI事業として優れたモデルとなるよう、今後、市が民間事業者と共に事業を実施していくにあたり、本委員会からは、次の意見を付すこととした。</p> <p>&lt;意見&gt;</p> <p>市と落札者グループは、本事業の目的実現に向けて、相互理解と対等なパートナーシップの下に協力し合い、入札条件に即して、以下の項目に関して努力すること。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○本事業の効率的な実施に加え、今後の類似事業の実施に資するよう、市と落札者グループは事業期間を通じて、適切に情報共有を行い、ノウハウ蓄積を図ること。</li> <li>○施工段階での安全性の確保、生活環境への配慮、周辺交通の影響抑制を徹底し、地域の理解を得ながら事業を推進すること。</li> <li>○デジタル技術を積極的に活用し、効率的な事業推進を図るとともに、インフラ分野でのDX推進に貢献すること。</li> <li>○本事業は長期の事業となるため、維持管理業務も含めた各業務が確実に実施され、その履行を確認できる体制を、市と落札者グループが協力して構築すること。</li> <li>○先進的な事例として、他の地方公共団体への情報提供等にも期待する。</li> </ul> <p style="text-align: right;">以上</p>
資 料	<p>資料1 これまでの経過について（報告）</p> <p>資料2 提案プレゼンテーション及びヒアリングの進め方</p> <p>資料3 提案審査に関する審議の進め方（案）</p>